

国際連合



(i) 国際連盟の成立と挫折

■ 国際連盟の成立

18世紀 エマヌエル・カント(1724~1804)による提言

“戦争はあたかも人間の本性に接ぎ木されたかのである。”『永久平和のために』
この表現を用いて、戦争を「人間の本性」からして当然の現象と捉えた。
だからこそ、単なる理想論では決して平和を実現することはできないとし、
徹底して理論的に、平和に向けた組織の確立を訴えていった。



1914~1918 第一次世界大戦



1918 アメリカ大統領〔¹〕:〔²〕を提唱

→ 1919 〔³〕条約: 国際連盟設立に関する条約

→ 1920 **国際連盟** 創設 (**パリ講和会議**) → しかし、機能せず WW2 の開戦に伴い事実上の崩壊…



第二次世界大戦終結前 … 米・英によって国際平和を維持するシステムについて話し合い

→ 1944 〔⁴〕会議: 国際連合憲章の原案作成

⇒ 1945 ヤルタ会談、サンフランシスコ会議などを経て、同年10月 **国際連合** 創設

Point! なぜ国際連盟は組織として機能しなかったのか…?

■ 国際連盟と国際連合の比較

	国際連盟 (1920)	国際連合 (1945)
本部	ジュネーブ(スイス)	ニューヨーク(アメリカ)
原加盟国	42カ国	51カ国 ※現在は193カ国(2023年時点)
ポイント	欠点が多く機能しなかった (1)米ソの不参加(日独伊も後に脱退) (2)総会の議決方法は全会一致制 (3)制裁は経済制裁のみ 武力制裁が無いので怖くない	・世界中のほとんどの国が参加することで集団安全保障を実現。 ・近年の加盟国 スイス・東ティモール(2002) モンテネグロ(2006)・南スーダン(2011)

ポイントとなるのは国際連盟がなぜ機能しなかったかということ。まず①のアメリカとソ連という2国は、当時の世界で二大勢力の大国であった。集団安全保障体制は、みんなが一緒になって約束をするから抑止力になるのであって、影響力の強い国が不参加では意味がない。また、②の総会は世界会議のようなもの。全会一致制では、反対が1つでもあったら不成立なので、物事が決まっていけないことは容易に想像できる。

国際連合



(i) 国際連盟の成立と挫折

■ 国際連盟の成立

18世紀 エマヌエル・カント(1724~1804)による提言

“戦争はあたかも人間の本性に接ぎ木されたかのである。”『永久平和のために』
この表現を用いて、戦争を「人間の本性」からして当然の現象と捉えた。
だからこそ、単なる理想論では決して平和を実現することはできないとし、
徹底して理論的に、平和に向けた組織の確立を訴えていった。



1914~1918 第一次世界大戦



1918 アメリカ大統領〔¹ **ウィルソン**〕:〔² **十四か条の平和原則**〕を提唱

→ 1919〔³ **ヴェルサイユ**〕条約: 国際連盟設立に関する条約

→ 1920 **国際連盟** 創設 (**パリ講和会議**) → しかし、機能せず WW2 の開戦に伴い事実上の崩壊…



第二次世界大戦終結前 … 米・英によって国際平和を維持するシステムについて話し合い

→ 1944〔⁴ **ダンバートン・オークス**〕会議: 国際連合憲章の原案作成

⇒ 1945 ヤルタ会談、サンフランシスコ会議などを経て、同年10月 **国際連合** 創設

Point! なぜ国際連盟は組織として機能しなかったのか…?

■ 国際連盟と国際連合の比較

	国際連盟 (1920)	国際連合 (1945)
本部	ジュネーブ(スイス)	ニューヨーク(アメリカ)
原加盟国	42カ国	51カ国 ※現在は193カ国(2023年時点)
ポイント	欠点が多く機能しなかった (1)米ソの不参加(日独伊も後に脱退) (2)総会の議決方法は全会一致制 (3)制裁は経済制裁のみ 武力制裁が無いので怖くない	・世界中のほとんどの国が参加することで集団安全保障を実現。 ・近年の加盟国 スイス・東ティモール(2002) モンテネグロ(2006)・南スーダン(2011)

ポイントとなるのは国際連盟がなぜ機能しなかったかということ。まず①のアメリカとソ連という2国は、当時の世界で二大勢力の大国であった。集団安全保障体制は、みんなが一緒になって約束をするから抑止力になるのであって、影響力の強い国が不参加では意味がない。また、②の総会は世界会議のようなもの。全会一致制では、反対が1つでもあったら不成立なので、物事が決まっていけないことは容易に想像できる。

